

基本構想素案への意見等の反映案について

意見区分	意見対象部位	意見要旨	意見への対応	基本構想(修正前)	基本構想(修正後)
1 内部意見	前文10～12行目 第5章 目標時期 第6章 人口の想定 ※(補足説明)	和暦、西暦等の表記を一定のルールに則り、記載すべき	和暦(西暦)の併記とする	20XX年(平成YY年)	平成YY年(20XX年)
2 内部意見	資料4-1 3ページ 前文21行目	「働き方改革」、「一億総活躍社会」といった言葉は、現時点では定着した言葉ではなく、一時的な標語であるため、10年有効となる基本構想には、まだ使用するべきではないのでは	指摘された言葉を使用せずに、同様の意味となるように修正する	国内においては、少子高齢化と人口減少が同時進行し、各産業における担い手不足や家庭内における子育て・介護の負担増などが顕在化しており、人材育成や就労・子育て支援、働き方改革による1億総活躍社会の実現が求められています。	国内においては、少子高齢化と人口減少が同時進行し、各産業における担い手不足や家庭内における子育て・介護の負担増などが顕在化しており、人材育成や就労・子育て支援、 働き方改革 による1億総活躍社会の実現などを通して、就労を望む誰もが働きやすい社会環境を整備していくことが求められています。
3 内部意見	第4章 まちづくりの目標 1 第7章内	「支えあい」と「支え合い」、「すべて」と「全て」、「いかす」と「生かす」と「活かす」、「つなげる」と「繋げる」計画において、表記ルールを統一すべき	これらの言葉については、公用文ルールに則り、統一する	支えあい すべて 活かす、生かす(生死の意味は除く) 繋げる	支え合い 全て いかす つなげる
4 パブコメ	資料4-1 5ページ 第5章 目標時期	「目標時期」を「目標期間」にしてはどうか	内容を期間と間違われたい表記に訂正する	この基本構想の目標時期は、平成30年度(2018年度)から10年後の2027年度(平成39年度)までとします。	この基本構想の目標時期は、平成30年度(2018年度)から10年 後の経過 する平成39年度(2027年度)までとします。

基本構想素案への意見等の反映案について

意見区分	意見対象部位	意見要旨	意見への対応	基本構想(修正前)	基本構想(修正後)
5	パブコメ 資料4-1 5ページ 第6章 人口の想定	「苦小牧市人口ビジョン」を踏まえ、…」の表現を、もう少し柔らかい表現とした方が良いのでは		「苦小牧市人口ビジョン」の名称が唐突に出てくることで、わかりにくくなっていたため、わかりやすい説明に改める	この減少抑制を目指すために、平成27年度(2015年度)に策定しました「苦小牧市人口ビジョン」を踏まえ、若年層の転出抑制や出生率の向上を目指す取組を行うことにより、目標時期における本市の人口は、おおむね16万人台後半とすることを想定します。
6	内部意見 資料4-1 6ページ 第7章 第1節 第1 2	項目名に「市民自治によるまちづくりの推進」とあるが、「市民自治の推進」とした方が良いのでは	修正する	市民自治によるまちづくりの推進	市民自治によるまちづくりの推進
7	内部意見 資料4-1 6ページ 第7章 第1節 第1 3	男女平等参画の精神としての「誰もが個人として尊重され」をもう少しわかりやすい表現ができないか	わかりやすい表現に修正する	誰もが個人として尊重され、あらゆる分野の活動に平等に参画し、その個性と能力を發揮できる社会を形成します。	誰もが個人として尊重され多様な生き方を認め合い、あらゆる分野の活動に平等に参画し、その個性と能力を發揮できる社会を形成します。
8	内部意見 資料4-1 10ページ 第7章 第2節 第5 1(2)	「マイホームづくりを支援します」の場合、新築支援を行っているように受け取られるが、実際は、リホームの支援のみである。適正な表現に変更すべき	誤解のない表現に修正する	マイホームづくりを支援します	マイホームづくり長く住み続けられる住まいづくりを支援します。
9	内部意見 資料4-1 10ページ 第7章 第2節 第5 3(1)	更新を行うのは、消防装備である	文言の修正	消防施設・設備の更新や	消防施設・設備装備の更新や
10	内部意見 資料4-1 10ページ 第7章 第2節 第5 3(2)	「建築物の耐震性能を向上させます」とあるが、民間の建築物の耐震化等を市が行うわけではない	誤解のないように、修正する	建築物の耐震性能を向上させます	建築物の耐震化性能を向上させを促進します
11	内部意見 資料4-1 10ページ 第7章 第2節 第5 3(3)	治水管理の上では、河川・排水路と一体となった機能充実が必要	文言を修正する	治水対策による河川機能の充実と	河川や排水路における治水対策による河川機能の充実と